

主題名「誠実に生きる喜び」【内容項目:A(2)正直、誠実】

教材名「手品師」

6年

教材について

(教材について)

腕はよいが売れない手品師が、一人ぼっちの男の子と出会い手品を披露する。手品師は男の子と明日の再会を約束するのだが、その夜、友人から大劇場への誘いの電話がかかってくる。男の子との約束か大劇場か、迷いに迷う手品師だったが、翌日、たった一人の男の子の前で手品を披露するのであった。

葛藤の末、男の子との約束を選んだ手品師の生き方と自身の生き方を比べながら正直、誠実についての価値を考えさせたい。

この授業で育てたい児童の心

(ねらいについて)

男の子との約束か大劇場への誘いかで迷う手品師の葛藤する気持ちを考えることで他者はもちろん、自身の心にも誠実に行動し、明るく生きようとする心情を育てていきたい。

授業の流れ

授業の展開(学習活動の流れ)

- ① 「正直」「誠実」についてのイメージを出し合う。
- ② 「手品師」を読んで、話し合う。
 - ・友人からの誘いを受けた手品師が迷っているのはなぜか。
 - ・手品師が生きる上で大切にしているものは何か。
- ③ 手品師が大切にした誠実な生き方と自身の誠実に対する考えを比べてワークシートにまとめる。
- ④ 夏目漱石の言葉を紹介し、話し合ってきた内容を確認した上で、学習して考えたこと感じたことをワークシートにまとめる。